

森永卓郎



B級コレクション のススメ

双六と聞いて何を思い出すだろうか。お正月の子供の遊び道具と思う人が多いだろう。実は私も6年前まで、その程度の認識しかなかった。しかし、1人の男性との出会いが、私を双六コレクショニに引きずり込んでしまった。

その男性は、リクルートの求人メディアの審査室エグゼクティブマネージャー、吉田修さん(51)だ。吉田さんとは、仕事で出会ったのだが、会話が終って雑談をしていると、双六を集めていると彼が言い出した。

「ドラマ展開の一覧性」が魅力

双六には長い歴史があつて、しかも色々なストーリーがたった一枚の紙にびつしり描き込まれている。その「ドラマ展開の一覧性」がなんとも魅力的なところだ。なんとなく興味があって、「どこに行けば手に入るんですか？」と聞くと、「急ぐのであれ

ばこの正月に開催される銀座松屋の古書市に行けばよい」とアドバイスをくれた。そこで松屋に出掛け、古書市の双六をみていくうちに、すっかり夢中になつてしまった。江戸時代から昭和30年代まで、それを観光名所を巡るもの、出征する兵士を送り出すもの、飛行機で世界各地を訪れるものなど、さま

時代を映す小宇宙ざっしり

さまざまなテーマのドラマが、大判の紙のなかにぎっしり詰め込まれている。かに面白い。



しかも、そのドラマは当時の政治や経済、庶民の暮らしなどを見事に反映しているのだ。なかには「出産双六」などというのもある。妊娠してから、腹帯を巻いて、出産に向けての過程がコマごとに描かれている。

テーマもさまざま

時代を感じさせるのが江戸時代の双六だ。見た目が浮世絵と同じなのだ。それもそのはずで、江戸時代の双六は、浮世絵師が描いている。しか

浮世絵師が描いた江戸ものから駄菓子屋ものまで

大判なのでかなり高い値段と思つていたのだが、実際には10万円から数十万円と決して買えない金額ではない。もちろん私は江戸時代の双六を持っていないが、大正時代から昭和初期のものになると、値段も数千円に下がるので、気軽に買える。初日は大正時代のものを一枚買って帰ったが、集めようと思つて気をつけていると、いろいろなかつてきた。古書店はも

ちろん、骨董市、アンティークショップ、そしてネットオークションでも手に入る。入手先が広がる、骨董として値は高くないが面白い双六も手に入るようになる。そのなかで一番のお気に入りは昭和30年代から50年代に駄菓子屋で売られた双六だ。仮面ライダーもどきや鉄腕アトムもどきなど、版權を取っていないキャラクターたちが同じ双六を飾る。それも、時代の一断面なのだ。(経済アナリスト)

PREMIUM

100

朱子版

森永卓郎



B級 のススメ

双六の歴史は古く、祭
良の正倉院にも収蔵され
ていて、日本書紀にも
「双六を禁止した」とい
う記述があるそうだ。た
だ、このころの双六は、
盤上双六と言って、バツ
クギヤモンに近いゲーム
だった。盤上の升目が1
列に12あることから(双
六12×6)と呼ばれる
ようになったそうだ。

現代の双六と同じ絵双
六が登場したのは13世紀
で、それが最盛期を迎え
たのが江戸時代。絵草紙
屋などで売られた絵双六
は、版元が競って人気の



慶應幼稚舎の授業や 新聞の正月版に登場

PREMIUM

10

大正



「作家」として実際に制作

しきを持っている。
「双六を集めても、そ
れだけで終わってしまう
のではないか」と思われ
るかもしれない。しかし
何事も一番になると、い
ろいろなチャンスがめぐ

トップコレクターに様々な依頼が

「2006
同通信社と

ット上で「双六ねんど」の双六は、吉田さんのコ
(www.sugoroku.net
)という吉田さんのコ
レクションを展示する
「電子博物館」を開館し
た。
このサイトには、双六
は大きな仕事をした。共
同通信社と

の歴史など、さまざまな
双六情報も掲載されてお
り、ヤフーのクールサイ
トにも認定された。この
サイトはすでに20万人以
上の観客を集めている。
また、吉田さんが双六
ねんどで有名になるにつ
れて、いろいろな依頼も
増えた。慶應幼稚舎の小
学3年生に4時間の双六
の授業を行う依頼がき
て、子供たちと双六を実
際に作成した。そのとき

年サッカーW杯日本代表
絵すゝく」を共同制作
して、それが元旦の主な
地方紙に掲載されたの
だ。コレクターを始めて
10年あまり、吉田さんは
ついに「双六作家」にま
で登録されたことにな
る。ただし、吉田さん
のすゝくく作り
は、W杯すゝくく
前に始まっていた。
吉田さんの本業
は、リクルートの求
人メディアの審査室のエ
グゼクティブマネジャー
だ。その仕事で、05年3
月にリクルートのワーク
ス研究所が企業で活躍で
きるビジネス・プロフェ

ッショナルの創出と活用
についてまとめた「ビジ
ネス・プロフェッショナ
ル創出ビジョン」という
報告書を作った。そこに
「素敵日本」専門職業飛
廻言語録」という双六を
付録で付けてしまったの
だ。
この双六は実際に遊べ
る大判の双六で、右が仕
事がうまいかない暗い
ゾーン、左がビジネス・
プロフェッショナルを通
じて上がりに向かう明る
いゾーンになっている。
ちなみに、暗いゾーン
の終着点は「年収300
万円で暮らす」だ。
(経済アナリスト)